

の

し

せ

よ

ま

あ

みやまえ地域カルタ

宮前平中学校区版

い

つ

ま

で

も

、

伝

え

た

い

、

残

し

た

い

、

私

た

ち

の

ふ

る

里

あ あふれる
みんなの笑顔
宮前平小学校

平成22年の宮前平小学校創立30周年記念にマスコットのハットちやんとキャップくんが誕生しています。教育目標のひとつは「あふれるあふれるみんなの笑顔明るないあいさが交われ声をかけあい 協力し楽しく学びあう学校」です。

か 川崎の
北の玄関口
東名川崎インター

東名川崎インターチェンジは、東名高速道路の東京インターチェンジと厚木インターチェンジ間が開通した昭和43年4月に開設され、川崎の北の玄関口として、市民の交通の要となっています。

さ 鷺沼プールの
跡地に
カップパーク

市民に親しまれていた鷺沼プールの跡地に平成18年4月に土橋小学校鷺沼ふれあい広場・フットサル施設・フロンタウンさぎぬま「さぎ沼なごみ保育園」が完成しました。公募決まったゾーン全体の名称が「カップパーク鷺沼」です。

た 竹の里に
生まれた学校
土橋小

平成18年に、土橋小学校が誕生しました。土橋地区は昔から竹の子の産地として有名で「竹の里」と呼ばれており、今でも学校の周りには竹林が残っています。校章のデザインは「竹」を軸に、4枚の竹の葉で構成されています。

な 菜の花が
駅前に咲く
宮前平

宮前平駅前の交番の横のわずかなスペースに、菜の花の種が蒔かれ、早春に黄色い花が見られます。宮前平駅から眺める黄色い菜の花の風景に、懐かしさを感じられます。

は 初詣
八幡神社で
お参りだ

八幡神社は「新編武蔵風土記稿」にも記されている古い神社で、明治の終わりに馬絹分家は馬絹神社に、土橋分家は土橋神社に合祀され、後に現在の宮前平駅前に戻されました。右隣には、小台稲荷神社があります。

ま 町じゅうに
明日を支える
子どもたち

宮前区は子どもが多く、人口に占める子どもの割合も高くなっています。宮前平中学校区には、小学校が4つあり、地域の公園などには、多くの子どもがみられます。

や 矢上川
九十九曲がり
大氾濫

矢上川は、菅生地先に源を発し、尻手黒川線に沿って流れ、田園都市線・国道246号線を通り、梶ヶ谷野川方面に流れています。かつては、九十九曲がりといわれるほど曲流し、大雨が降るとよく氾濫していたようです。

る 瑠璃色の
五月雨に映える
紫陽花ロード

鷺沼北公園近くの道路沿いに、地域のボランティアグループが平成9年に823本のアジサイを植えて管理しています。急斜面の手入れは大変ですが、毎年、梅雨の時期に美しいアジサイが見られ、紫陽花ロードと呼ばれています。

い いつまでも
桃の花咲く
宮崎台小

昭和50年4月の宮崎台小学校開校当時、周辺地域の住民が多くの樹木の苗木を持ち寄って植え、緑豊かな学校になりました。地域の代表的な花であった花桃が、校歌に「桃の花咲く丘」と歌いこまれ、校章にもデザインされています。

き きついろ
階段でうなる
土橋神社

土橋神社の境内に続く石段は幅がせまく急で、うっそうとした木々に囲まれています。土橋神社は江戸初期に創建され、土橋の人々に鎮守の神さまとして大切にされてきており、夏祭りや例大祭には、福宜舞が奉納されます。

し しばられ松
ひっそりたたずむ
守り神

しばられ松の名前の由来は、願い事があると綱を幹に縛り、願い事が成就すると綱を解いてお礼の宴を開いたという故事に由来します。この聖松は、落雷にあつて枯れてしまいましたが、今も大切に残されています。

ち 竹林の
春を告げる
うぐいすの声

土橋地区は昔、竹の子の産地として有名で「竹の里」と呼ばれていました。開発が進み竹林は激減しましたが、今も残っている竹林の一部では、4月ごろから「朝ほり竹の子販売」の看板が出され、柔らかにうぐいすの子が売られます。

に 日本一
宮前平中の
エコカーは

「1リッターのガソリンでどれくらい走れるのか？」がテーマの「本田宗一郎杯Hondaエコマイレレッジチャレンジ」全国大会中学生クラスで、宮前平中学校工学部が平成22年、23年に連続優勝しました。

ひ 人知れず
地下に音聞く
武蔵野線

武蔵野線は、鶴見駅から西船橋駅を結ぶ鉄道路線で、鶴見から府中本町は貨物線と通っています。区内の地下を通っており、線路上の付近の住民によると、夜、静かなときに地下を走る貨物の音が聞こえることがあるそうです。

み 見つけたり
軍標で知る
軍用地

太平洋戦時下には、通称東部62部隊が宮前区内の広大な土地を接収しました。今も接収境界域を示す「陸軍」と刻まれた石の標識が残っています。

ゆ 夕暮れの
富士見坂から
富士の山

富士見坂は、宮前平駅から区役所に向かう坂で、この坂から富士山を見ることができるといことから、愛称として命名されました。富士見坂からの夕焼けは美しく、天気の良い日にはマシンの間から、富士山が眺められます。

れ 歴史ある
頼朝ゆかりの
茶筌松

土橋を通っていたといわれる鎌倉街道を源頼朝が通った際、松の葉を茶筌に使って一服したと伝えられています。その「茶筌松」が土橋3丁目にあつたといわれています。

う 現夜に
歴史感じる
オオカミの護符

土橋地区には、オオカミが描かれたお札が貼られている家があります。このお札は、講の代表者が青木の御岳山に参つてもらってくる土橋御岳講のものですが、この御岳講をとりあげた映画「オオカミの護符」が平成20年に制作されました。

く 鞍掛の
松を見下ろす
梵天山

鷺沼北公園付近は、かつて梵天山と呼ばれていました。梵天山付近には鎌倉街道が通っていて、頼朝が鞍をかけて休息した「鞍掛の松」があつたといわれています。高台にある鷺沼北公園の展望台は、東京方面の景晴らしが素晴らしいです。

す スイセンの
花咲く
富士見台の土手

富士見台小学校の土手は、2月初旬ごろから水仙の花が満開となり、その眺めは、通行する多くの人の目を楽しませてくれます。この水仙は、平成12年から植え始められたもので、黄水仙や日本水仙が年々増えてきています。

つ 土橋の
インター前は
花いっぱい

東名高速インターチェンジ前の花壇は、多くの花が咲いています。ここは、地元の方が熱心に維持管理を行っており、植え替えの際には、子どもたちも参加しています。平成23年3月には、花壇内にメッセージ看板も完成しました。

ぬ ぬくもりを
感じる
福祉パル

福祉パルは、地域住民のみなさんに福祉活動の場を提供し、各種講習会の開催、福祉機器の展示、福祉の相談広報活動などを行うなど、地域福祉活動の総合的拠点施設です。宮崎台駅近くにありま。

ふ 富士見坂
疲れて休む
ポケットパーク

宮前平駅から富士見坂を上ると、中腹の信号の角に花壇とベンチがありま。この花壇はその形からポケットパークと呼ばれており、急坂を登る途中でひと休みできるスポットです。

む 虫の声
響く
宮崎第四公園

宮崎6丁目にある宮崎第四公園は、広く緑豊かな公園で、公園の一角には、宮前平こども文化センターがありま。大きなクスノキやヒマラヤ杉などの木々があり、秋には、さまざまな虫の音が聴こえます。

よ 頼朝の
ゆかりの地名
土橋は

江戸時代の書物「新編武蔵風土記稿」によると、土橋地区一帯は昔、「大田」といわれていたことが、源頼朝がこの地を通過した際に新たに土橋を架けたという故事から、江戸初期に土橋村になったといふこと。

ろ 六地藏
仲良く並ぶ
正福寺

正福寺は当初は今の土橋2丁目付近にありましたが、江戸時代末期に火災のため第六と共に焼失し、現在の土橋6丁目に再建されました。正福寺の入口左側には、馬頭観音や庚申塔、道標があります。

え 笑顔いっぱい
ふる里
さくら祭り

宮崎台駅前の街路樹には、区の木である桜が植えられており、毎年4月には素晴らしい桜のトンネルとなります。宮崎台ふる里さくら祭りは、地元住民が中心になって、例年4月第一日曜日に開催され、毎年、大勢の人々でにぎわいます。

け 元気よく
歌声響く
市民館

宮前市民館は、多くの区民に利用されてお、様々なイベントも開催されます。1階には大ホールがあり、区内の中学校の合唱コンクールなどにも利用されています。

せ 線路沿い
沈む太陽
まっかつか

田園都市線が昭和41年4月に満の口・長津田間を延長開業した際、宮前区内の宮崎台駅、宮前平駅、鷺沼駅が開業しました。起伏の多い宮崎台駅から宮前平駅に向かう線路沿いからは、きれいな夕日を眺めることができます。

て 電車・バス
親子でノリノリ
博物館

電車とバスの博物館は、平成15年から高津駅から宮崎台駅に移転しました。東急線の旧型車両の展示、電車やバスの運転シミュレータ、飛行機の操縦体験シミュレータなどがあり、イベントも定期的に開催されています。

ね ねえ聞いて
みんな友達
富士見台つ子

富士見台小学校は、昭和47年に誕生しました。教育目標は「個性輝く豊かな人間性を培い、国際社会にたくましく生きる子の育成」で、「富士見台つ子」の目標は「やさしく、かしこく、たくましく、世界のひとをつなぎます」。

へ へび坂の
上にかかるは
虹の橋

宮崎4丁目にある坂道の上に虹色の橋が架かっています。個人宅の敷地の真ん中に道路ができ、敷地間を渡すために、この橋が架けられました。この坂道は、木々に囲まれ、くねくねとしているので、へび坂と呼ばれています。

め 珍しい花もある
宮崎台
駅前花壇

宮崎台駅前の花壇は、立体的にデザインされています。タイツリソウやクリスマスローズなどの、珍しい品種も植えられています。市民グループが管理しており、植え替える時には、抜いた花で小さな花束を作り、道行く人に分けたりしています。

ら ラッパの音
かつて聞こえし
宮崎よ

昭和16年に宮崎中学校一帯に、東部62部隊という軍隊の兵舎や演習場が設けられました。宮崎中学校から虎の門病院分院あたりに連帯本部や兵舎が置かれ、八幡坂上には高射砲が、鷺沼公園には探照灯が設置されました。

わ わつしよいと
みんなの掛け声
山車神輿

10月15日の馬絹神社の例大祭の日、朝9時に宮出ししたお神輿は、各地区を練り歩き、八幡神社、宮崎第二公園の神酒所を経由し馬絹神社に宮入りします。各地区の子ども会が協力して、子ども御輿が、大人神輿の後に続きます。

お 大山へ
向かう街道
八幡坂

昔、八幡坂は、両側が土手のおかげで木々がうっそうとしていて、道はぬかるみ、急坂で利用するのは大変だったといま。その後、何回か道筋が変わり、現在は宮前平駅前から宮前平郵便局へ大回りさせることで、傾斜が緩やかになっています。

こ 小台の坂
梨の実眺め
汗を拭く

宮前区は住宅地として開発が進むまでは、農業を営む人が多く、小台周辺にも梨畑がたくさんありました。宮前平駅近くに残っていた梨畑は、現在はイチジク・キウイ畑に変わつてきています。

そ そよ風に
花の香りの
花園橋

花園橋は宮崎台駅近くの田園都市線の上に架かっています。花園橋近くの畑では、花の栽培農家が季節に合わせてカンパニュラ、菊、ケイトウなどを栽培しています。その畑の周辺には、桃やレンギョウの木も植えられています。

と 東名道
西へ東へ
夢つなぐ

東京都世田谷区の東京インターチェンジから愛知県小牧市の小牧インターチェンジへ至る東名高速道路は、中央自動車道・名神高速道路・新名神高速道路・東名阪自動車道・西名阪自動車道とともに、東京・名古屋・大阪の日本三大都市を結ぶ日本の大動脈です。

の のどかな
秋の陽に映える
イロハカエデ

宮前平駅近くの小台坂の登り口にあるイロハカエデは、まの樹50連のひとつに指定されています。新緑や紅葉など季節ごとに違った姿が見られます。

ほ 盆踊り
子ども太鼓の
音響く

各町内会では、7月から8月に盆踊りが催されます。盆踊り当日、熱心に練習に励んだ子どもたちが、やぐらの上で太鼓の音を元気に響かせ、踊りを盛り上げます。

も 餅つき
楽しい行事
子ども会

各町内会の子ども会では、運動会など子どもが楽しめる行事がたくさんあります。特に「餅つき」は、子どもから大人まで協力して餅をつき、その場でつくたての餅が食べられるので、人気があります。

り リズムに乗って
みんなで
公園体操

健康づくり・介護予防を目指して、地域の人々が自主的に公園等で体操を行っています。誰でも気軽に自分のペースで参加でき、顔見知りや仲間が増え、地域の輪を広げる場となっています。

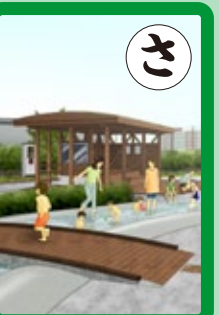
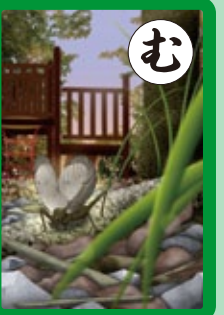
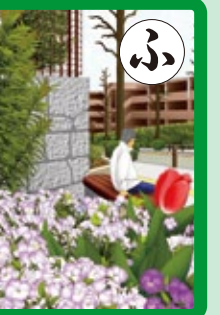
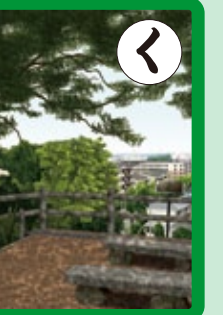
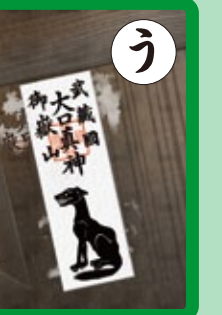
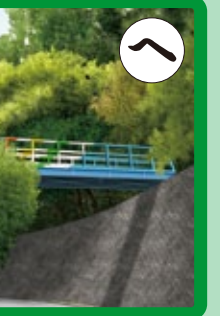
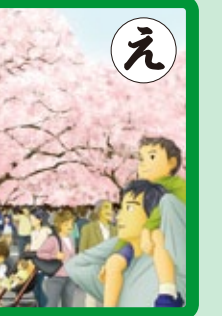
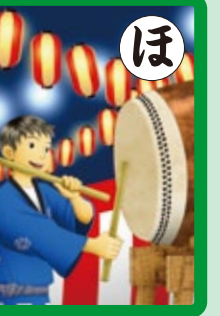
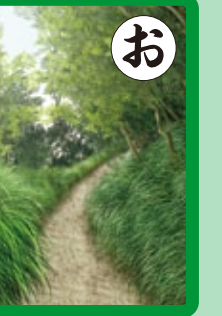
みやまえ
宮前区役所
みやまえカルタ制作実行委員会

の

みやまえ地域カルタ

宮前平中学校区版

いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里

 る	 や	 ま	 は	 な	 た	 さ	 か	 あ
 れ	 ゆ	 み	 ひ	 に	 ち	 し	 き	 い
 ろ	 よ	 む	 ふ	 ぬ	 つ	 す	 く	 う
 わ	 ら	 め	 へ	 ね	 て	 せ	 け	 え
 り	 も	 ほ	 の	 と	 そ	 こ	 お	



みやまえ

宮前区役所
みやまえカルタ制作実行委員会